国立大学法人
福島大学
Fukushima University

プレスリリース

令和７年１１月１２日

復興創生シンポジウム「福島復興とコミュニティ再生の展望 —第 3 期復興･創生期間に向けて—」を開催

福島大学地域未来デザインセンターは、復興創生シンポジウム「福島復興とコミュニティ再生の展望～第 3 期復興・創生期間に向けて～」を開催いたします。

2021 年度からスタートした第 2 期復興・創生期間では、浜通り 12 市町村で移住定住政策が行われ、一定の成果がありました。来年度からスタートする第 3 期復興・創生期間では、帰還者と移住者が共に支え合い、その地域の一員だと感じることのできるコミュニティを再生することが課題とされています。

今回のイベントでは、第 1 部の基調講演で復興庁の視点から、第 2 部のパネルディスカッションで浪江町・双葉町・大熊町・富岡町の町長ならびに副町長の視点から、第 3 部のパネルディスカッションで民間と住民の視点から、多角的な視点で福島復興とコミュニティ再生の課題・展望について考えます。

事前周知のご協力及び当日の取材方、よろしくお願いいたします。

【実施概要】
日 程 ：2025 年 12 月 13 日(土) 13：30～17：00
会 場 ：J ヴィレッジ コンベンションホール（双葉郡楢葉町山田岡美シ森 8）
※オンライン配信とのハイブリット開催
対象者：東日本大震災の復興や地方創生に関心を持つ方、どなたでも参加可能です
定 員 ：100 名（会場）
申し込み方法：一般および取材希望の方も、以下のフォーム（またはチラシ右下 QR コード）からお申込みください。
※取材希望の場合はフォームの備考欄にその旨ご記入ください。
https://forms.gle/ieBFphL3CJVsDZFH9

第一部：基調講演「第 2 期復興・創生期間の成果と第 3 期の課題（仮）」
登壇者：復興庁福島復興局局長

第二部：パネルディスカッション
「福島復興とコミュニティ再生の展望：自治体の視点から」
登壇者：富岡町、大熊町、双葉町、浪江町の町長、副町長

第三部：パネルディスカッション
「福島復興とコミュニティ再生の展望：民間の視点から」
登壇者：Cotohana 鈴木みなみ氏、大熊未来塾 木村紀夫氏、
浅野撚糸株式会社 浅野雅己氏、幾世橋行政区長 永田行直氏

※詳細は別紙チラシを参照

（お問い合わせ先）
福島大学地域未来デザインセンター
藤室 玲治、松原 久、北山 真理子
電 話：024-504-2834
メール：designc-sk@adb.fukushima-u.ac.jp

福島大学地域未来デザインセンター
復興創生シンポジウム

福島復興とコミュニティ再生の展望

～第3期復興・創生期間に向けて～

2025 12/13(土) 13:30～17:00

基調講演

第2期復興・創生期間の成果と第3期の課題

講師　復興庁 福島復興局
志田 文毅 局長

会場　Jヴィレッジ
〒979-0513
福島県双葉郡楢葉町山田岡美シ森8

オンライン参加可　要事前申込　懇親会あり

JR常磐線Jヴィレッジ駅より、徒歩5分

申し込みフォームはこちら!!

参加募集人数　100名　**参加費無料**

参加対象　一般住民、行政職員、大学等教職員・学生、団体職員

事前申込みが必要です。ご希望の方は、右記のQRコードより**12月11日（木）まで**にお申込みください。（定員になり次第、締め切ります）

12月14日(日)　エクスカーション実施（双葉郡各所予定）
参加をご希望の方は、シンポジウムとあわせてお申し込みフォームからお手続ください。

主催／ 福島大学地域未来デザインセンター　　共催（予定）／ ふくしま連携復興センター
後援・予定含／ 福島県、復興庁福島復興局、（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構、福島国際研究教育機構、公益社団法人福島相双復興推進機構、浪江町、富岡町、双葉町、大熊町、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、毎日新聞福島支局、河北新報社、時事通信社福島支局、共同通信社福島支局

[お問合せ先]　〒960-1296 福島市金谷川1番地　福島大学地域未来デザインセンター
TEL：024-504-2834　E-mail：designc-sk@adb.fukushima-u.ac.jp

国立大学法人 福島大学 Fukushima University

福島大学地域未来デザインセンター
復興創生シンポジウム

福島復興とコミュニティ再生の展望 ～第3期復興・創生期間に向けて～

本シンポジウムでは、原子力災害被災地における第2期復興・創生期間の取り組みの成果を総括したうえで第3期の課題を抽出し、地域未来デザインセンターが重視する「コミュニティ再生」の視点から、今後必要な取り組みを考えます。

第1部の基調講演では復興庁、第2部のパネルディスカッションでは自治体、第3部のパネルディスカッションでは民間の視点から、それぞれ福島復興とコミュニティ再生の課題・今後の展望について報告し、その後、第3期復興・創生期間に向けて必要な取り組みを議論します。

プログラム　【受付】13:00～

13:30～	開会挨拶	三浦 浩喜　福島大学 学長
13:40～	第一部 基調講演	**「第2期復興・創生期間の成果と第3期の課題」** 講師　志田 文毅 氏　復興庁 福島復興局長
休　憩		
14:30～	第二部 パネル ディスカッション	**「福島復興とコミュニティ再生の展望:自治体の視点から」** パネリスト: 山本 育男 氏　富岡町 町長 / 新保 隆志 氏　大熊町 副町長 / 森　隆史 氏　双葉町 副町長 / 吉田 栄光 氏　浪江町 町長 ファシリテーター: 西田 奈保子　福島大学行政政策学類教授
休　憩		
15:40～	第三部 パネル ディスカッション	**「福島復興とコミュニティ再生の展望:民間の視点から」** パネリスト: 鈴木 みなみ 氏　任意団体cotohana 共同代表（富岡町へ移住。子育て応援コミュニティを立ち上げ） 木村 紀夫 氏　一般社団法人大熊未来塾 代表理事（大熊町から避難中。帰還困難区域内での語り部ガイド等を実施） 浅野 雅己 氏　浅野撚糸株式会社代表取締役社長（双葉町で工場・ショップ・カフェの機能を兼ね備えた複合施設を進出） 永田 行直 氏　浪江町幾世橋行政区区長（浪江町へ帰還。防災をテーマに地域住民同士で顔のみえる関係性づくりに尽力） ファシリテーター: 藤室 玲治　福島大学地域未来デザインセンター特任准教授
16:50～	閉会挨拶	松田　幹　福島大学 理事（研究・地域連携担当）

エクスカーション情報 【12月14日㊐ 開催】

Aコース、Bコース共通

いわき駅8:00集合、17:45解散。
Jヴィレッジ、ホテルオーシャンいわさわも経由予定

参加費　無料（入館料、昼食等は実費）
定　員　各コース20名

主な訪問先

Aコース（大熊町・富岡町）…大熊町中間貯蔵施設内（木村紀夫氏による案内）、CREVAおおくま（昼食）、富岡町夜の森地区等（まち歩き）

Bコース（双葉町・浪江町）…東日本大震災・原子力災害伝承館（見学）、震災遺構浪江町立請戸小学校（見学）、フタバスーパーゼロミル（昼食・見学）、浪江町幾世橋地区（視察）

参加申込方法（シンポジウム・エクスカーション共通）

申込フォームから。フォームの入力がうまくいかない場合は、問い合わせ先のメールアドレスにご連絡ください。

福島大学地域未来デザインセンター
■ 申込フォームURL:https://forms.gle/ieBFphL3CJVsDZFH9
■ QRコード ▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶

[お問合せ先]　〒960-1296 福島市金谷川1番地　福島大学地域未来デザインセンター
TEL：024-504-2834　E-mail：designc-sk@adb.fukushima-u.ac.jp

国立大学法人 福島大学 Fukushima University